

## 令和4年度第1回多摩市立学校給食センター運営委員会要点会議録

【日 時】 令和4年7月15日（金）

午後3時30分～午後4時15分

【場 所】 多摩市役所 西第6会議室（2階）

【出 席】 11名（欠席2名）

【傍聴人】 なし

配布資料：会議次第、委員名簿、給食費会計要綱、給食費会計に関する監査事務要綱、学校給食異物混入について（令和3年度分）、物価高騰対策に係る学校給食費負担金の概要、令和4年度運営委員会開催日程（案）、学校給食残量調査について（当日配布・回収）

開会后、改選となった委員への委嘱状の交付及び委員・事務局職員の自己紹介を行った。

### 1 議事

#### (1) 学校給食費会計監査委員の選任について

小学校長代表の委員が変わったことから監査委員の選任が必要になった。多摩市立学校給食センター給食費会計に関する監査事務要項第6条の規定により小中学校校長代表から1名となっていることから、残任期間も小学校長代表である向井委員にお願いし、決定した。

#### (2) 学校給食異物混入（令和3年度分）について

事務局から資料4「学校給食異物混入（令和3年度分）について」に基づき説明があった。全部で35件発生した。その内、機械の部品が混入した可能性が疑われる案件が2件発生し、献立の一部緊急停止をした。児童・生徒にはご迷惑をお掛けしてしまった。その他の案件で原因の究明ができたものについては、米飯業者、製パン業者、あるいは精肉業者、調理場からのものがある。再発防止を図るための対策として、納品から下処理、調理、配送、配膳を通じて、点検と確認を怠らないよう注意し、委託事業者や納品業者へ要請している。なお、委託事業者とは月1回、会議を開き情報共有し注意喚起している。金属やガラス片などの混入が生じた重大案件については、児童・生徒の安全性を最優先し、給食停止を行うこととし、原因究明を進め、結果と再発防止策について保護者・学校へ謝罪と説明を行い、安心・安全な給食の提供に努めていく。

#### (3) 学校給食残量調査について

事務局から当日配布資料「学校給食残量調査について」に基づき説明があった。結果は参考数値として残食量の傾向を把握し、調理または提供の仕方等を改善することにより児童・生徒への食育指導や食品ロス削減などへつなげていきたい。献立作成の工夫と改善については、和食の定番である「白飯、焼き魚、野菜のみの副菜」の組み合わせが不人気のように全体的に残食料が多かった。これを踏まえ味付きのご飯や揚げ魚等、比較的食べる料理と組み合わせることで一日の残食量を少しでも減らせるよう取り組んでいきたい。また野菜のみの副菜はしっかりした味付けにし、配食量は少し控えめな量にして様子を見たい。その分、汁物はだしを効かせて薄味に仕上げ、副菜で減らした分の野菜を汁物に増やしてバランスを取るようにしたい。

引き続き学校や栄養教諭、栄養士と連携して食育事業や声掛けなどを行い、児童・生徒にもつ

と食べてもらえるように進めていく。

なお、残食量の多い学校には、個別に給食センターからも声をかけさせていただき、食べ残しが減るための工夫や検討ができないか相談をさせていただきたいと考えている。

【委員】 自分の子どもが通っていた学校の残量が非常に多いということで、給食の時間がとても短いと子どもから聞いていたが、それも関係しているのではないか。学校に言っても変えられないものなのか。

【事務局】 以前からそういう声はあがっていたが、学校では時間割りの制約もあるため、すぐに給食の時間を増やせるわけではない。片付け方等の工夫次第で1学期は慣れていなかった1年生も2、3学期には徐々に慣れてきて早くできるようになると聞いたことがある。給食の時間については、給食センターだけでは決められず、難しいのが現状である。

【委員】 何が原因なのかということをしっかり究明して学校側と共有しないと改善していかない。いただいたご意見は次の校長会で伝えて、残量に関するこの資料も校長会で共有し、学校間において情報共有して改善に向けた工夫をしていただく必要がある。

#### (4) 物価高騰に伴う学校給食の給食費の負担について

事務局から資料5「物価高騰対策に係る学校給食費負担金の概要」に基づき説明があった。昨年度後半から物価の高騰が見られた。その間、令和2年度決算及び令和3年度補正予算でご報告した繰越金約1,500万円をやり繰りに使わせていただき、保護者から新たな負担を求めずに食材を購入してきた。令和4年度については、国からの地方創生臨時交付金を財源に物価高騰分を公費負担する補正予算を計上、6月議会で承認いただいた。補正予算額は3,457万円。給食センターでは、物価上昇の傾向に注意しつつ、給食の質と量を落とさずに給食の提供を続けていく。今後、東京都や他市の動向を踏まえながら、さらなる公費負担が必要か、あるいは保護者に対し給食費の値上げを求めるか慎重に検討し、対応策については運営委員会にてご議論いただきたいと考えている。

【委員】 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況の中で、場合によってはどこかのタイミングで給食費へ転嫁して行くということも視野に入れ考えないといけないが、教育委員会としては少なくとも今年度中の給食費の値上げは想定していない。

【委員】 前年度からの繰越金は、年度初めの給食費の納入が少ない月に使うと聞いていたが、今はそれを使ってしまって、また公費が入ってきて賄っているということなのか。どう考えればよいか。

【事務局】 令和3年度の繰越金として約1,500万円あったが、令和3年度の終わり頃から徐々に物価高騰が始まり、すでに1,300万円程度を物価上昇分に充当している。おそらく令和4年度に繰り越せる額が200万円位になると予想され、その分が繰越金として残っている状況である。それとは別に今年度は既に物価高騰が始まっているので、それについては市の方で新たに予算を組んで物価高騰分に充当し凌いで行くというのが市の考え方である。

#### (5) 令和4年度学校給食センター運営委員会開催日程(案)について

事務局から資料6「令和4年度多摩市立学校給食センター運営委員会開催日程(案)」に基づき説明があった。今回を含めて年4回の開催と決算監査の実施を予定している。

8月中旬以降に監査委員2名に令和3年度学校給食費会計決算の監査をしていただく。その後、

第2回目は9月中旬以降、第3回目は令和5年1月下旬以降、第4回目は令和5年3月下旬以降に開催したいと考えている。

(6) その他

・学校給食試食会について

**【事務局】** 以前より、給食の試食会の話が出たが、学校の先生方以外の方々はなかなか給食を食べる機会がないと思うので、10月以降に給食センターの見学も合わせて実施できればと考えている。場所は南野調理所で、時間は11時～11時45分の45分間程度。後日、日程調整やご案内をさせていただく。

**【委員】** 日程調整をするときに、献立をお知らせして、例えば先ほど話のあった残食量の多い魚であったり野菜を食べてみたいという希望を確認して食べていただき、これは味が薄い等々のご意見を先生方も含めいただければと思う。